

第3回

LGBT 研修会 in 大阪

テーマ：生殖補助医療を法律から考える

津田助産院 助産師 津田育久子

LGBT 当事者の方が妊娠を望んだ場合、生殖補助医療を考えなければいけないケースが増えてきます。支援者として、日本の医療・法律・パートナーシップ制度・子どもの出自を知る権利と多くの事を理解し考えていく必要があると思います。今回はニュージーランドにおける同性カップルの家族形成・生殖補助医療に関する法的課題についての講演です。ニュージーランドでは単身者や同性カップルなどが自由に生殖補助医療を利用し、出自を知る権利やドナー・生殖補助医療で生まれた子どもの交流を認めています。日本の法律が変わっていく上での示唆にもなると思われる講演内容です。また大阪市が行っているパートナーシップ制度について、大阪市市民局ダイバーシティ推進室人権企画課からの講演も企画しています。



梅澤彩 さん

熊本大学熊本創生
推進機構
法学部准教授

場所：大阪府助産師会館

大阪市天王寺区細工谷 1-1-5

<http://www.josansi.org/>

日時：2019年8月22日（木）

13:00 受付開始

13:30～16:30

参加費：一般 2000 円 学生 1000 円

事前申し込みを下記連絡先までお願いします



『パートナーシップ
制度について』

大阪市市民局ダイバ
ーシティ推進室人権
企画課

※大阪市へは今回の講
演にあたり、講演料はお
支払いしていません。

連絡先：津田育久子

jyosanshi.LGBT.2019@gmail.com



後援：大阪府助産師会 LGBT 支援団体 RainbowCreate 代表 定政輝

日本学術振興会「課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業（実社会対応プログラム）「生殖補助医療・社会的養護による LGBT の家族形成支援システムの構築」（研究代表 二宮周平 立命館大学法学部教授）」